

# ReduHeat<sup>®</sup>

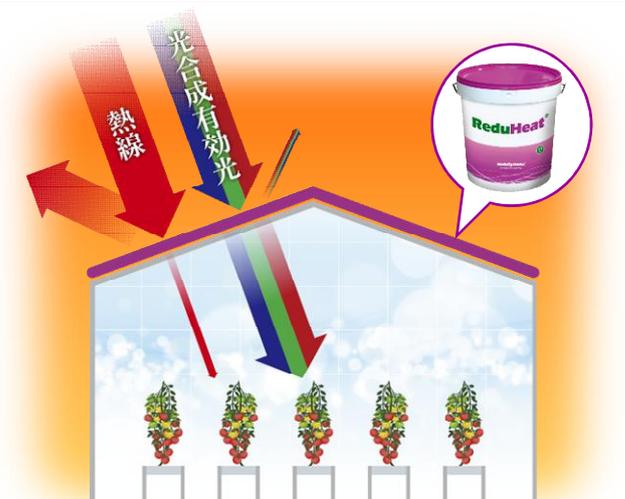


1缶(15kg)あたりの  
使用目安: **400m<sup>2</sup>**

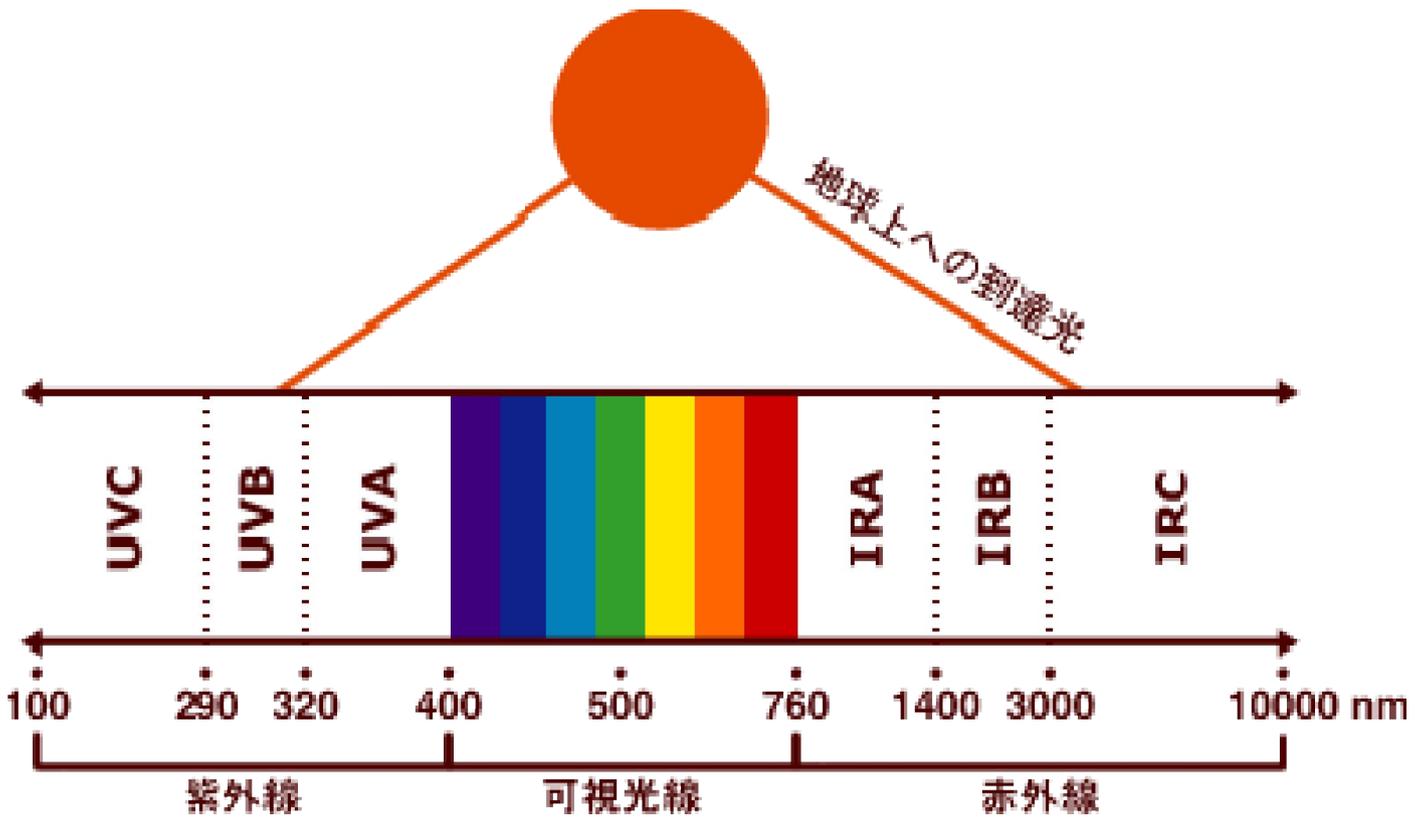
光は大事。熱はいらない。  
一歩先の環境制御へ。

## 光を取り入れ、熱を反射させる。

- レディヒートはハウスの屋根面に塗布することでハウス内へ侵入する熱線を遮ります。
- 光合成有効放射 (PAR)をほぼ遮ることなく透過させます。
- 作物の生育を妨げることなくハウス内温度を下げる事が可能です。



# 太陽光線の波長区分



レディヒートはここを中心に  
効果を発揮します！

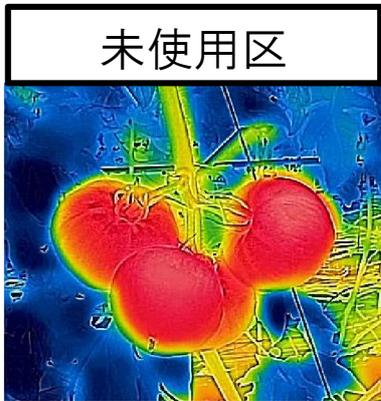
7色に見える虹の赤色のさらに外側にある目に見えない波長の光線が、**赤外線**です。  
**赤外線**は、物質に吸収されると分子の熱運動を引き起こし、物質の温度を上昇させることから、「**熱線**」とも呼ばれます。

光合成有効放射  
(PAR)

緑色植物の光合成に有効な波長（光合成有効放射、PAR）は400～700nm

## 高温期の品質・収量を改善。

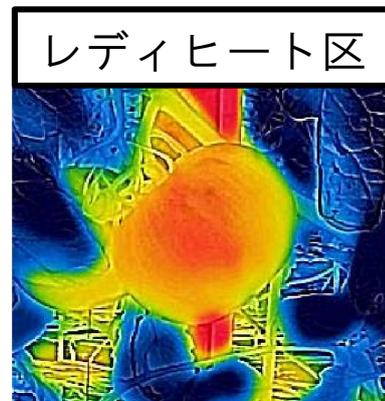
- レディヒートの塗布によりハウス内の気温だけでなく果実や花、葉の温度が大きく低下します。
- 高温による障害（焼け・萎れ）や品質の低下を予防するだけでなく、可販果収量や品質の向上が期待できます。



未使用区

平均果実温：30.2℃

-2.5℃



レディヒート区

平均果実温：27.7℃

撮影日：2018年6月4日 快晴時

### 着色不良果(黄変果・グリーンバック)

リコピンの生成温度

12℃ 30℃

βカロチンの生成温度

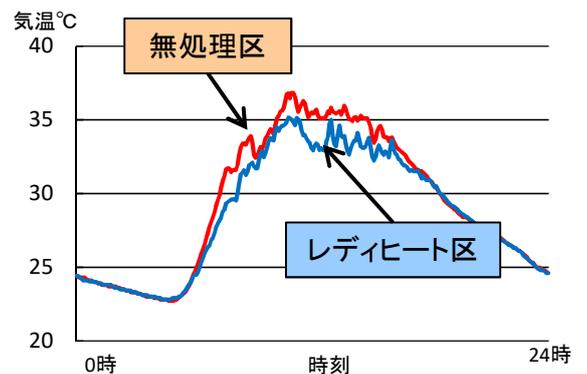
8℃ 35℃



トマトの果実温がリコピン（トマトを赤くする成分）の生成される温度から外れると着色不良果が発生しやすくなると言われています。

## 労働環境の改善に有効。

- レディヒートはハウス内の温度を低下させ、温室内で働く労働者の負担を軽減します。
- 労働効率の向上や熱中症のリスク低減に効果的です。



### お勧め塗布タイミング(2.5缶/10aの場合)

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

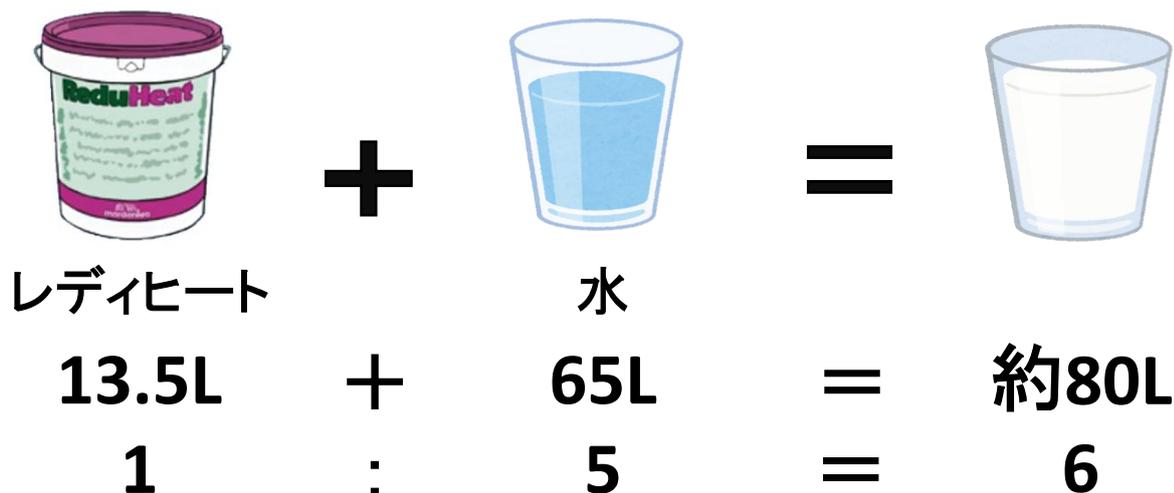


効果：4～5ヶ月



## ご使用方法

- ① レディヒート、水、希釈用タンク、動力噴霧器を準備します。
- ② レディヒート1に対して5倍量の水を混合してください。  
レディヒート1缶(400㎡分)につき…



- ③ 動力噴霧器を使用して、ハウスの屋根にレディヒートを吹き付けます。  
(鉄砲・ガンタイプのノズルの使用をおすすめいたします。)
- ④ 塗布作業後は動力噴霧機・ホース内の洗浄を行うために、50～100Lの水を出し続けてください。
  - 塗布の濃度を変えることで遮光率を調整してお使いいただけます。  
初めてご使用の方は10aあたりに2.5缶の濃度での塗布をおすすめしています。
  - レディヒートの効果は塗布の濃度によって3～5ヶ月持続します。

10aあたりの缶数	希釈率	水 (L)	遮光率 (%)	
			光合成有効放射 (PAR)	熱線 (IR)
4.5	1 : 3	150	25	44
3.5	1 : 4	160	16	30
2.5	1 : 5	170	13	24
2	1 : 6	180	10	20

**ReduSystems®**

株式会社 誠和アグリカルチャ 〒329-0412 栃木県下野市柴262-10 TEL:0285-50-2030